

受講者募集

平成30年度まちづくりセミナー

社会福祉ボランティア大学校では、「平成30年度まちづくりセミナー」の受講生を募集しています。今年度のセミナーは、「つどいの場」をテーマに実施します。

元気に日々を送る秘訣は、仲間との会話や笑って過ごせる居場所があることです。誰もが楽しく集える「つどいの場」をボランティアの皆さんと一緒に作りませんか。

この講座では、「つどいの場」の実例・展望やつどいの場を盛り上げるレクリエーションの紹介など楽しいつどいの場づくりのお手伝いをします。

第1回 6月9日(土) 10:00～12:00

「どうして、つどいの場は必要？」

～地域福祉の現状と課題～

九州大谷短期大学 福祉学科
学科長/教授 中村 秀一

第4回 7月21日(土) 10:00～12:00

「気軽に立ち寄れる場所」

～子ども・障害者の憩い～

社会福祉法人 倫尚会 公益財団法人 北九州市身体障害者福祉協会
理事長 浦部 倫太 理事長 柴田 泰博

第2回 6月23日(土) 10:00～12:00

「こころとからだを健康に」

～つどいの場を盛り上げるレクリエーション技法～

ちーむ・レク☆さす
代表 尾中 美穂

第5回 8月4日(土) 10:00～12:00

「地域にこんなところがあったらいいな」

～わたしたちが行きたいつどいの場～

北九州市社会福祉ボランティア大学校
校長 山崎 克明

第3回 7月7日(土) 10:00～12:00

「いつまでも元気でわかわかしく」

～高齢者のよりどころ～

おとなりさんネットワーク「えん」
代表 田代 久美枝

- ところ: ウエルとばた12階H・I研修室
- 対象: テーマに関心のある方30名
(申込み多数の場合は抽選させていただきます。)
- 受講料: 700円(5回分)
- 申込方法: 5/25(金)までにお電話か申込用紙ご記入の上、郵送またはFAXでお送りください。

研修レポート

社会福祉法人の社会貢献活動セミナー

平成30年3月1日(木)に開催された「社会福祉法人の社会貢献活動セミナー」では、44名の方にご参加いただきました。

今回は、「社会福祉施設の専門性を活かした、地域への社会貢献の在り方を考える」をテーマに「高齢者」「障害者」「子ども」の分野からそれぞれ事例発表をいただき、社会貢献活動による地域との関わりについて、参加者の皆様と意見交換を活発に行うことができたセミナーとなりました。



研修レポート

企業の社会貢献活動セミナー

平成30年3月9日(金)に開催された「企業の社会貢献活動セミナー」では、25名の方にご参加いただきました。

今回は、「企業による社会貢献活動で地域が望むもの、企業にできることを考える」をテーマに2企業に事例発表をいただきました。その後、ファシリテーターの広島修道大学の田坂先生を中心にワールドカフェを行い、今後の社会貢献活動のきっかけや色々な活動のあり方を受講者同士で共有することができたセミナーとなりました。



シリーズ福祉エッセイ「しあわせづくり、ひとづくり」②

「同級生の北九州市(君)にエールを」

北九州市は、今から55年前の1963年2月10日、旧5市の対等合併により誕生しました。世界的に類のない世紀の大合併として国連からも視察団が訪れたほどでした。実は私も北九州市と同じ55歳、つまり、同級生なのです。

合併当時の北九州市の人口は105万人。お隣の福岡市の人口はまだ70万人前後で、「福岡県庁を福岡市から北九州市に移転させよう」との声も市民から上がるほど高度経済成長期の真ただ中、大阪以西で最大の人口を誇る九州初の政令指定都市として北九州市には勢いがありました。小学生時代、学校で「日本が誇る4大工業地帯の1つが皆さんが住むここ北九州工業地帯です」と教えられ、どこか誇らしい気持ちになったことを憶えています。

あれから55年、北九州市(君)も人口が10万人減り、95万人と減少傾向が続いている一方で、県内の同じ政令指定都市として常にライバル視されてきた福岡市は人口が155万人を超え、神戸市を抜いて大阪市以西で最大の政令指定都市となっています。しかし、急激な人口増加の福岡市は、水の問題や都市基盤整備が追い付かず、明るい話題ばかりではないようです。

北九州市には、未来に向けた無限の可能性がまだまだ沢山あると思います。

社会福祉法人倫尚会
理事長

浦部 倫太 さん



それは、今後の日本社会全体に及ぼす大きな役割・使命が北九州市には期待されていると思うからです。そのキーワードが以前から言われて久しい「少子・高齢化対策」と、最近では政府が提唱する「1億総活躍社会への取り組み」です。

まさに待ったなしで前例のない大命題です。北九州市は全国の政令指定都市で断トツの高齢化率と、小学校の相次ぐ閉鎖や統合に象徴される少子化の進行や若年層の東京など市外への転出増が進む一方、「50代以上で住みたい都市ナンバー1」と評されるような充実した医療・福祉の先進都市や住みやすさ先進都市としての社会インフラも十分備えており、この課題に率先して取り組む素地を備えている唯一の大都市と言えます。

国は、福祉先進都市・北九州市からの情報発信を期待を込めて待っていると思います。そして我々社会福祉法人も、その使命を負っています。地域社会に貢献するために北九州市(君)とこれからも一緒に頑張っていきたいと思っています。

ガンバレ! 北九州市(君)